

玉野市立田井小学校

児童数 389名 ・ 学級数 15学級 ・ 教職員数 33名（平成27年1月30日現在）

○取組実践のキーワード

よく分かる授業の展開、学習習慣の確立

○標題（研究主題）

「自ら学び、共に生きる子どもの育成」

○取組を始めた経緯

今年度の全国や県の学力・学習状況調査の結果から、漢字の書き取りや計算問題など基礎的な知識技能の習得については、改善の傾向が見られる。その反面、文章をしっかりと読み、根拠を考えて自分の考えを書くことに課題がある児童が多い。

また、算数でも記述が必要な問題での正答率が低いことも大きな課題である。さらに、児童の週末の家庭学習や読書の時間が少ないことも明らかになっている。

そこで、今年度は、読み取る力を育てることが最重要課題であると考え、国語科に焦点化した研究を進めるとともに、昨年度までの取組を継続して実施し、学力向上を目指すこととした。

○取組の実施体制

- ・「わかる・できる」国語科の授業づくりを目指す校内研修
- ・全教職員の共通理解に基づいた学力向上に向けた取組

○学力向上に向けた具体的な取組

＜どの子どもよく分かる授業のために＞

- ・生活や授業のユニバーサルデザイン化の観点からの学習環境の整備
- ・ユニバーサルデザインを取り入れた「わかる・できる」国語の授業づくりのための校内研究
- ・算数科での習熟度別少人数指導の実施（2～6年生）
- ・朝の学習での計算練習（自作問題）や読書
- ・委員会やクラブ活動がない時間を活用した4～6年生の補充学習
- ・放課後等の補充学習の実施（3年生対象のおさらい会や個別の指導）
- ・学校支援地域本部事業ボランティアによる「九九検定」の実施

＜学習習慣の確立を目指して＞

- ・中学校のテスト週間に合わせて取り組んでいる「家庭学習強化週間」の年5回の実施
- ・「学習のてびき」の改訂及び、学級懇談での家庭学習の内容や重要性についての詳しい説明
- ・学校だよりや学級懇談等、保護者向けリーフレットの配付や学力向上についての保護者への啓発
- ・春休みの宿題を全学年で実施

○現在までの取組の成果と課題

1 成果

- ・全国や県の学力・学習状況調査の結果から、基礎的・基本的な問題での正答率が向上した。
- ・個人の能力に合わせた習熟度別の指導を行うことで、児童一人一人が意欲的に算数科の学習に取り組めるようになった。
- ・家庭学習の取組では、以前に比べ保護者の意識も高くなり、保護者の協力の下、意欲的かつ計画的に取り組める児童が増加している。

2 課題

- ・文章を読み取ることや書くことに課題を抱える子が多く、本年度は国語の授業づくりを校内研究の柱に位置付け取り組んでいるが、研究も道半ば、今後も更なる研究が必要である。
- ・多くのボランティアの方に支援をいただいているが、事前の打ち合わせの時間が十分に取れず、指導の仕方や配慮児童の確認など課題がある。
- ・家庭学習に対する意識は、全体的に高まっているが、家庭によって温度差があるので、引き続き様々なメディアを活用して啓発活動を続ける必要がある。

○取組の継続・発展の要因

- ・今後も学力向上に繋がる校内研究テーマを設定し、全教職員で取り組んでいく。
- ・学校支援ボランティアを活用した補充学習の取組の拡充を図る。

○管理職・中核教員等のアクション

- ・校内研究の見直しを行い、外部講師の人選など研究内容の充実を目指す。
- ・補充学習等学力向上に向けての日常の取組についても見直しを行い、更なる充実を図る。

○その他の資料・写真等



<校内研究授業 国語科>



<3年生対象 おさらい会>